

つばめ会会報

“Slope” #27

目次

タイトル	氏名	ページ
幹事長の言葉	坪居 大介(24期)	2
会長の言葉	浅野 昭(12期)	4
新部長の言葉	大嶋 拓実 (31期)	
前コーチの言葉	柴本 浩児(28期)	
前部長の言葉	高野 圭司(30期)	
インカレリレーメンバーの言葉	山本 剛士(32期) 新城 大樹(30期) 古谷 嵩(29期)	
近況報告	村上 巧(27期)	
インカレ運営記	糸永 幸平(26期)	
ML・ホームページについて	小山 温史(27期)	
編集後記	小山 温史(27期)	

幹事長の言葉

24期 坪居大介

皆さん初めまして。…という挨拶になる人はほとんどいない気がしますが、このたび2年間幹事長を勤めさせていただいている坪居と申します。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、今年もインカレが日光にて開催されました。私は応援・出走のほかになぜか運営のお手伝いをするという3つの立場で関わっていました。大会クラスの運営は3回目（他は2005年OLT杯・2005年関東ロングセレ）でしたが、インカレの運営でも様々な面白いことがありまして、この年になってまた一つ貴重な経験ができたな、と思っています。また、併設大会では去年に引き続きつばめ会からリレーで4チーム出すことができました。参加してくださった皆様、ありがとうございました。楽しんでいただけたら幸いです。

肝心のOLTの成績のほうは、リレーは残念ながら7位となってしまいました。ミドルWEにて田村さん（現4年/学連登録3年目）が見事6位入賞を果たしました。彼女は去年秋のインカレロングでも3位入賞を果たしており、実にすばらしいと思います。

その他、つばめ会でも、小山君（27期、現広報局長）が2回目となるユニバー選考会通過を果たしました。本戦は7/18～7/24ということで、こちらの成績も期待しています。

ここからは個人的な話になりますが、この前大半の社会人には恐怖であろう健康診断がありました。まあ私は体重の数字が大きくなってしまいました。最近いろんな人に会うと、みんな口をそろえて「あれ、少し〇った？」（なぜか伏字）と言われていたので、予想通りだったりするんですが。

で、会社の同僚とかに「でも確か運動しているよね？」（もちろんオリエンテーリングのこと）と言われていたんですが、オリエンテーリングのほかにも自宅周辺で少しは走らなきゃいかんのかなあと思ったりしています。

走らなきゃいかんのかなあと思うのは他にもう1つ理由があって、よく現役生と同じコースで走る機会があるんですが、まあ1年生に普通に歯が立たなく

なってきたのが悲しいという情けない理由だったりします。もちろんそうなる理由の大半は足の遅さでして、今自分が学一を走ったらどんな酷いタイムが出るんだろなあ…なんて思ったりしています。

さて、時季的には、現役は新歓真っ盛りのようですね。新しい M1 コーチも決まったようですし、OLT の新しい 1 年がどんな一年になるか、今年も見守っていきたいと思っています。…あと、OB の皆様と大会会場で会うのを楽しみにしています。というわけで是非大会に来てください。いや、ホントに。

会長の言葉

12期 浅野昭

今年の春は寒い日が続き、なかなか春らしくありませんが、つばめ会会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。

わたしの近況ですが、インカレ併設リレーを走った際に、山の中で派手に転倒し3週間ほど痛い思いをしました。これまでこの欄を使って、「たまには走りませんか」と呼びかけしましたが、これからは同時に「でも怪我には気をつけて」ともお伝えしなければいけないですね。

まず、今回のトピックスと言えば、3月に行なわれた日光インカレでしょう。詳細結果については他の方の報告にまかせますが、個人的には混合(XUR)クラスで優勝したのがとてもうれしかったです。というのも手前味噌になりますが、1993年のインカレにて金森-飯村-浅野というメンバーで優勝しているからです。その後1996年、2000年にも優勝し、今回がOLTとして10年ぶり4回目の優勝になるそうです。わたし自身は表彰式のシーンを見て、ふと17年前の出来事を思い出しました。"昔はよかった"的な物言いは、今現在がんばっている人に対して失礼であり、できるだけ避けているのですが、表彰式だけは昔のほうが良かったように思います。だって、もっと暴れられましたから。(笑)とにかく、参加選手・コーチならびに運営に携わったみなさん、お疲れ様でした。

もうひとつ、うれしいニュースを。

今号からこの会報の編集を担当してくれる小山さんが、今年7月にスウェーデンで行なわれるユニバー（世界大学オリエンテーリング選手権）の代表に前回大会に引き続き選ばれました。それこそ怪我には気をつけつつ、ぜひ世界の舞台で暴れ回ってきてください。

部長の言葉

31期大嶋拓実

つばめ会の皆さまこんにちは、平成22年度のオリエンテーリング部部長を務めさせていただくことになりました無機材料工学科3年の大嶋です。

日光インカレ、直前合宿では応援やサポートありがとうございました。リレー入賞などの昨年度の目標は果たせませんでした、インカレを楽しむことが出来ました。またインカレ以来32期はじめ部員のやる気が増したように感じました、来年へ向けて、インカレロングに向けて頑張っていこうと思います。今年度は31期が運営期になり部員一同29期の方々をはじめとするOBの方々の力を借りつつより良いオリエンテーリング部を目指したいと思います。

今年度の主な目標としては

- ◎みんな仲良く
- ◎インカレリレー4位
- ◎月間走行距離1500km

などを設けました。正直いまのままでは達成することは難しいでしょう。しかし意識をかえてオリエンテーリングに取り組むことで必ず目標を達成したいと思います。

今年度は学内でのオリエンテーリング大会および野津田公園の地図のリメイク、大会開催なども計画しております。部員だけでは経験不足というのが否めませんがご協力、ご参加よろしく願いいたします。

また昨年度は夏合宿の大コンパが中止となり、つばめ会の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。今年度は体調管理をしっかりと行い、必ず楽しい夏合宿が開催できるようにしたいと思います。我々も新歓、新入生の教育へ力を注いでいきます。

思うと2年前久保山先輩に駒沢公園に連れていってもらったのがついこの間のことのように感じます。2年間はあっというまであったと思います。そしてこれからの2年間も…

我々はこの1年精一杯やっていき、悔いの残らないようにしたいと思います。

最後に顧問の岡田清先生の退官が近づいております。顧問依頼の経験がある方がいらっしゃいましたら、是非その時のお話を聞かせて頂けませんでしょうか。

では今年度も東工大 OLT をよろしくお願いいたします。

年間報告とインカレ感想

28期 柴本浩児

平成 22 年 4 月 23 日

1 はじめに

インカレお疲れさまでした。前半部分はコーチとしての今年度の総括、後半部分はインカレの様子を日記風に書きます。基本的に、内容はインカレ特別号の原稿を校正したものになっています。

2 去年度意識した点

東工大の場合、エスカレータ方式で必ずいつかはコーチをやることが分かっている、コーチングの仕方については実は 4 年生の始め辺りから意識していた。OLK に取り入って合宿などによく参加していたのはそういう理由もあって、色々と勉強させてもらった。ここでは、今年度開催した練習会などで意識した点をまとめておく。

2.1 時間割指導

これを初めて見たのは中学生の時の sward 合宿だったような気がする。記憶は曖昧。この方式はロング対策練でのみ適用した。参加者に自分が練習したい技術を能動的に選択させ、時間割方式で時間無いにメリハリあるトレーニングをする、というのが目的だった。

結果から言うと、結構運営的には厄介だった。まず、細分化するのはいいが、それぞれのテーマを練るのが大変で、適切な練習量とコーチ割当のシフト作成が非常に面倒であったのを覚えている。そして、当然のごとく毎回の時間区切りでみんな遅刻する。実際問題としては破綻するほど崩れることはなく、練習会としては密度が高いものができたと思っているので、マンパワーがあるならより改良した形を考えてからプロデュースしていくといいと思う。

2.2 ダラダラ練習しない

個人的に、メインレースが終わってからそのあとのメニューがいつもグダグダだった印象があるので、どうにかしたかった。具体的には、メインレースを最

後に回したり、チェイシングと取り入れたり、コーチを多く導入したりするなどした。

2.3 チェイシングを多く取り入れる

これは、ベストな方法ではないと半分わかっていながら取り入れた方針だった。というのも、2008年度のインカレミドルAファイナルが終わった後、東大OBの加藤さんが「今年はチェイシングばっかやってたけどAファイナルみたいな難度が高いミドルの練習はしてなかったなあ…」と言っていたことが頭に残っているため。

チェイシングというのは結構特殊といえば特殊な練習方法で、リレーを含めても普通のオリエンテーリングであれば人が密集していることはそうそうないし、そのためもあってかポスト周りの練習がおろそかになりがちである。しかし一方で、自分よりもオリエンテーリングが速い人と一緒にやることによってスピード感やテクニックをそのまま感じるができるということ、競争精神を養いやすいということ、反省がその場でしやすい、追い込める、などといった利点がある。通常の練習とうまくバランスを取りながらやっていけるといいと思う。

2.4 積極的に外部を呼ぶ

今年度特に意識したこととして、他大の現役生やコーチを積極的に招待するようになった。具体的な、招待した人(敬称略)とイベントは以下の通り。

ロングセレ対策練 岡崎(東北大OB)

秋合宿 水木(早稲田)

ロング対策練 山上(東大)、斎藤(一橋)、羽野(一橋)

冬合宿 村松(農工大)

直前合宿 松澤さん、太田(東北大OB)

それぞれの人が一回ずつしか出ていないが、特に他意は無い。水木などは2,3度誘ったがどうにも都合が付けられなかった。OLKは大体毎週何かやっているため、向こうを実際に呼ぶのは難しかった。唯一、ロング対策練だけは土曜日開催だったので山上などを呼べた。それ以外には小林知彦(コバトモ)も誘っていたがインカレ運営などで呼べなくなった。

さて、このような取り組みをした背景には以下のような思惑があった。

- 他大の人との交流を図る
- 見栄を張るために運営、参加者ともにやる気が上がる

一つ目についてはいわずもがな。

1他大の速い奴と仲良くなる

↓

2ライバルができる、トレーニングのやる気が上がる

↓

3速くなる

↓

4大会成績が良くなる

↓

1に戻る

というのが理想的かなと。二つ目は、4年生の時の直前合宿で気付いた。メリハリよく練習できたり、普段の練習で本気を出さない人などがある場合には有効かも。あと冬合宿で村松さんと呼んで思ったのが、やる気のある女子部員とかはうちの合宿はちょうどいいのかもしれないということ。関東の各大学は部内の(やる気ある)女子部員だけで組織ぐるみのトレーニングをする機会が無さそうなので、外部から呼ぶと向こうも都合がいいのかもしれない。

2.5 反省手法

今回、秋合宿や冬合宿で採用したのが、メインレースの地図を拡大して、ペンで記入しながら反省する方式。これは東大OLKのやり方をそのまま拝借したもので、いちいち一人ひとりの地図を見る必要が無いのでやる側としても楽だった。反省という意味では、秋合宿では省略型のアナリシスについても紹介した。これはあまり受けが良くなく、実際にやった人はあまりいなかったようだ。というか、そもそもアナリシスを書く習慣が無い人が多かったようだ。

2.6 リレーメンバー選出

今年度も、リレーメンバー選出に関してはコーチ陣で一方的に決定した。これは選出に関してできるだけ客観性を高めたいという理由による。部員による投票という手段ももちろん考えられるが、これはどちらかというと印象点によるものが大きく、明確な力の差が分かりづらい年だったということもあり今回は採用しなかった。ただ、リレーメンバーが決定した後大きく成長する者もいるので、その辺に柔軟に対応するシステムについて検討する必要は十分にある。

3 インカレ

これより先は、俺視点でのインカレを振り返ります。

3.1 モデルイベント

車を出すと言ったが前日くらいまで誰も反応してくれなくて焦る。色々あったが、高野、酒井、宮崎、ソハティの4人で編成。以外にもソハティを乗せるのは初めてだったらしい。まあ、力抜けよ。

だいや川公園到着。武藤らはもう到着していてモデルイベントを走っているらしい。俺はやまたけとか古谷とか楠とかを回収しに上今市へ。

上今市は、いつも改札に人がいないくせに特別にその日だけ駅員がいたらしい。いやまあ、だからなんだってわけじゃないけどね。うん。

3.2 開会式

モデルイベントが終わってから急いで開会式へ。会場で駐車する際に東北大生に車庫入れの仕方をほめられてちよっとうれしかった。

3.2.1 B エリートスタートリスト

突然流され、啞然としてたら終わった。てーか、あんな流し方するなら事前に決めておいてプログラムに載せとけよな…。

3.2.2 シード選手紹介

全体的には、OLK と OC がつるんで、田村と神谷がハブにされてた感じ。

大橋 うーん普通。東北大って全員あんなにマッちょなんだろうか？

OLK+OC 山上はもっといじり倒すべきだと思う。

神谷 神谷のこんな一面は知らなかった。今回唯一、かつ絶対的な残念要素だったと思われる。

田村 そういえば他大からの評価って聞いてなかったな。

名大 3 人 正直、微妙だったな。

それ以外 覚えてねえモノよりも思い出。印象薄くて忘れられるよりは、(人として)大切なものを捨ててでも思い出に残るようなシード選手紹介を、ということか。

3.3 A エリートスタートリスト

古谷は残念なほどに早いスタート。田村もシード選手にしてはそれほど恩恵を得られない位置ではある。まあ本来なら前後に誰がいようが勝つ奴は勝つんだけど、そうもいかないのが現状だよな。まあスポーツとかでは往々にしてあることだし、どんな状況になっても割り切るしかないな。

3.4 個人戦

朝、武藤が小山さんらから受け取った差し入れを受け取る。中身は、なかよしとはたらく車(絵本)とアンジョンファン。て一かこれAエリート用なんじゃないの...と思ったので選手待機所まで持っていくことに。かさばる。

オフィシャルは、送り出す寸前までは面倒見れるが、ゴールする姿は見れない。帰ってきたらすでにほとんどの結果が出ていた。田村 6 位はさすが。しかし俺は腹を切らねばならないらしい。世知辛いな。

今年は、1 位が不正をしたしていないで結構揉めてしまった。なんだかすっきりしない。

それとは別の話として、大橋があそこまでやれる選手だとは思っていなかった。やはり彼なりに色々背負うものがあったのだろう。男子に関しては基本的に順当な結果だと思った。実際に走ったわけではないからわからないが、コース自体もコンピに近いものだったようで、きわどい勝負レグのようなものは無かったように思われる。インターハイではないが、大学生での一位を決めるというコンセプトとして大会をするならば、泥仕合にならないこの方向性はあると思う。スピードが無い選手にとっては苦しいものになっただろうが。

3.5 団体戦

「あれ?柴本さんまだ腹切って無かったんすか?wwwww」

貴様ら...

今年の会場レイアウトは結構すっきりしていてわかりやすい。去年のCC7とか最初完全に理解不能だったからな...。と、ここまで来て思ったが、俺はオフィシャルとして何をすればいいのだろうか。よく考えたら今年 ”も ”引き継ぎもなにも一切なかったことに気がついた。まあ最低限やるべきことは、タイムキーパーと状況把握だろう。

そんな感じで、一走スタート。あっという間に第一中間を通過。結構いい位置にいるみたいだ。他のクラスのスタートも気になるが、あまり会場から離れるわけにもいかない。東京名古屋早稲田はまあ順当か。東北はうちといい勝負っぽい。千葉は遅れたようだ。小宮山には悪いが、ちょっと安心した。

やまたけは 9 位でタッチ。一年生にしては好成績だと思う。というか、むしろ去年よりも順位がいい。上位 3 校とは大きな差だが、それ以外なら簡単に喰えそう。というわけで新城が走る。ビジュアルまでは結構いいタイム。しかしその後なかなか帰ってこない。

さてどうした…。そんな中、一橋の失格が決まり、他の大学では静岡のみが大きく崩したようだ。これてで2つ順位を上げて7位。もう、くれるもんなら何でも欲しい。ペナ以外は。

そして最後に古谷にタッチ。状況的には、京都と2分、新潟と5分。後ろにいる静岡も油断できない。京都は、まあ食えるだろう。伴だし。新潟は、向こうのミスもからまないとちょっと厳しいか。古谷に、ビジュアルで他大との差を教えてくれと言ったのでビジュアルで待つ。新潟通過。京都通過。2分経過。まだこない。さてどうした…。

4 おわりの言葉と今後について

リレーの結果は、最終的に順位は変わらずでした。7位。まあ結果だけで言うと毎年通りといえば毎年通りなのですが、内容や過程においては彼ら、特に古谷はがんばっていたと思います。部全体としても雰囲気が変わりつつあるようで、2010年度からはスプリント大会を二度開催するつもりようです。皆さまざま奮って参加していただければと思います。最近のオリエンテーリング界は人数も減少傾向にあり、消えてしまいそうな大学なども多い中、東工大はいつもマイペースで、楽しそうに、悪乗りしながら、頻繁に酔いつぶれ、そして、時に真面目に山を走ってくれた。そういう意味で、今年一年現役の面倒を見て、とても楽しかったし、頼もしかったと感じています。これこそが実は東工大が長年受け継いできた伝統なのではないかとも思います。

さて来年度からですが、今度は一橋大学のオフィシャルとなって活動します。東工大と東大の狭間の存在から、東工大と東大と一橋の狭間に生きることになったようです。思えば、OLTの入部当初も、OLTとロ技研の狭間、現在の研究室も工学と生理学の狭間ですので、まあ僕はこういう人生がお似合いなんでしょう。基本的に、対策練や合宿などは一橋を優先することになりますが、今後一橋(OLKという意味ではない)と東工大が互いに切磋琢磨して強くなるのがすでに古谷と一橋の斎藤の双方によって合意がなされています(意識)。一橋と東工大はお互いに足りない部分を持っています。一橋はインカレ入賞を十分に狙えるリレーメンバーをピンポイントで形成する一方で、組織としての厚みはありません。東工大は、突出した選手が出づらいつつ一方で、全体的なレベルは比較的高いです。この一年、互いに交流を持てば相乗効果が出る可能性があるのも楽しみです。とはいうものの、負荷が上がりそうなのは正直心配では

あります。ロングセレの運営もするし、今年は東工大OLT大会のイベントアドバイザーも頼まれているし。ていうか院を卒業しなきゃいけないし…。まあそんな感じですね。まだまだ現役は僕を休ませてくれそうにありませんのでがんばりたいと思います。

5 おまけ:就職先

ついでに、就職先が新日本製鐵に決定いたしましたのでこの場を借りて報告します。勤務先は、配属されないと言えませんが、一応の希望としては千葉の君津になります。製鉄所は室蘭、君津、名古屋、八幡、大分などと揃っています。そんな新日鐵ですが、千葉の君津に住むと厄介なのが

- 平日東京に遊びに行きづらい
- 富士とか愛知がやたら遠くなる
- 海岸付近だし、なんだか周りが平らそう
- 基本的に田舎
- 御宿が近い

と言った点でしょうか。君津はアクアラインとかなり近い位置関係にあるので、実は東工大には行きやすかったりします。鉄鋼業界と言えば、二言目に言われるのは斜陽産業という言葉ですね。見た目の華やかさは基から気にしていませんが、正直、そんなに明るい未来はなさそうです。やはり世界を相手にしていくというのは大変みたいです。近々業界再編もあるんじゃないでしょうか。第二次産業の代表格である鉄は絶対に不要にならないとは言われますが、超安牌の業界と言われていたテレビ、新聞などのマスコミもインターネットによって10年程度であつという間に衰退してしまいましたし、楽観的に考えていると足元をすくわれてしまうでしょう。もうすくわれているのかもしれませんが。しかし社員は常に危機意識を持っているみたいなので、変な話、逆に安心はします。ま、こういう逆境を何とかするために社員が存在しているわけですし、がんばるしかないですね。おまけが長いですね。それでは失礼します。

前部長の言葉

30期 高野圭司

つばめ会の皆様こんにちは、前年度に部長を務めていた高野圭司です。この場を借りて挨拶申し上げます。

09年度のインカレミドルは決勝レース一本化により、これまでとは違ったレイアウトになりました。08年度までの選手権クラスにおける、A-final進出者が誰になるかで当日盛り上がる恒例のイベントはなくなってしまいました。それでも皆、良い記録を狙いたいといった気持ちや、1年に1度しかないレースの雰囲気を楽しみたいといった気持ちを胸に秘めつつ、参加した部員それぞれがレースを楽しめたのではないかと思います。

一方、リレーの方ですが、連続入賞を狙っていた男子選手権クラスは7位という結果に終わりました。目標を達成することはできませんでしたが、3人とも全力を出して走ってくれました。この場を借りて称賛の意を述べたいと思います。

また、今回は応援の際、初めての試みとして東工大応援歌を皆で歌いました。これは08年度のインカレで感銘を受けたその時の1年生(31期)が積極的に動いてくれたおかげで実現しました。今回のインカレに参加してくれた1年生(32期)もインカレの雰囲気を目の当たりにして、オリエンテーリングに対する考え方が変わったようです。今後さらに部活を楽しんでもらえたらと思っています。

しかし、残念な話もあります。当初は18名入ってくれた昨年度の1年生(32期)も、現在では10名程にまで減ってしまいました。部長として、入部してくれた新入生が居心地の良い雰囲気を率先して作り出せなかったことに責任を感じております。それでも、今も残っている32期は新歓を積極的に行い、同期や先輩との繋がりも固いものになっており、こちらとしても安心しております。

最後に、昨年度はつばめ会の皆様に大変お世話になりました。今年度も部長の大嶋君を中心に、部員一同部活をより良いものとするべく力を尽くしてまいります。つばめ会の皆様も何卒お力添えをよろしくお願い致します。

インカレを終えて

32期 山本剛史

僕は1年生でオリエンは大学に入ってから始めたため、インカレリレーがどんなものであるか、その詳しいところは知りませんでした。あのような場に1年から参加できたのはとても幸運なことだと思っています。お世話になった方々、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

僕は1走という特殊なポジションはかなり面白いところだと思います。周りの人々を利用し、利用されつつ走るのはなかなか楽しいです。自分はまだまだ下手くそなので主に後者ですが。今回のインカレでは同じパターンに速い人がいるというラッキーによって、まともなタイムで帰ってこれることができました。これからは集団を引っ張れるような選手になっていきたいです。

そして次のインカレこそ、必ず入賞したいと思いますので応援よろしくお願いします。

30期 新城大樹

まず、インカレリレーで選手権を走らせていただいたことを、本当に感謝しています。ありがとうございました。実は応援される側というのはほとんど初めての経験でした。いろんな部活を経験していますが、特別なにかの代表になったことはありませんでした。いい経験をさせていただきました。

レースはといたしますと、
山本が予定通り9位で帰ってきて、私がスタートしました。
8位の東北とパック状態で第一中間まで行き、その直後に前にははずの京都と新潟に追いつきました。ここまではよかったです。明らかなルートミスをしてしまい、再び9位になってしまいました。右ルートが正解、左ルートが不正解なのですが、右に行った後左に行くという最悪のルートを取ってしまいました。それでも第二中間後ビジュアルまでに、京都と静岡には追いつけました。レース当時はまあまあ悪くない感じとっていました。ビジュアル後に新潟に追いつき、これで6位に。京都よりも前にいることを考えると、新潟より先にチェンジオーバーできれば、入賞がかなり有望になってきます。そう考えて新潟を振り、先に出ました。その次のコントロール。ポスト番号が飛んでることに気づきました。終盤での痛恨のポストスルー。新潟を抜いた次のポストを取っていませんでした。

取りに戻っている間に差を付けられ、結局入賞圏外から外れて7位でチェンジオーバー。6位との差は3分と、まだ挽回できるタイムだったのですが、東工大の代表としていいといえる走りであるはずがなく、残念でした。

結局、東工大は入賞することが出来ませんでした。今思うと、新潟は抜かずにバックし、さらに先の最終ラジコン付近で抜けば、ポストスルーは起こらなかったはずですが。さらにいえば、第一中間から先も東北にバックして完全に右ルートで行っていれば、5位確定でのオリエンができたのではと思っています。

しかし、このような展開を考えるオリエンは、インカレリレーならではでしょう。この点は大いに楽しませてもらいました。

今年は一橋遠征や教育実習、院試、卒業研究など、オリエン以外のイベントが盛り沢山で、リレー代表は難しいと思いますが、それ以外の時間をトレーニングに使えばと思っています。オリエンもオリエンで現役最後の年であり、特別な年です。後悔のないように過ごしていきたいと思っています。

29期 古谷嵩

ご無沙汰しております。今回リレーの3走を走らせていた29期古谷です。今年4年間で一番トレーニングに時間を割きました。研究室に所属しながら、院試、卒論、それらと同時にトレーニングをこなし、バイトをする。とても充実した一年間であったと思います。こんなに充実した1年は部活をしていなければ味わうことはできなかつたであろうと思います。

今回のインカレではあと一歩のところまで入賞に届きませんでした。後悔はありません。

暖かいご支援、ご声援ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

酒とタコ焼きとももこと私

27期 村上巧

お久しぶりです。西の地よりこの文章を書いております。みなさんいかがお過ごしでしょうか？

さすが西日本、といわんばかりに桜も早々と散り、あとは葉桜と寒さだけを残しております。4月より社会人になり、研修では会社概要、ビジネスマナー、製品事業部の説明、製品営業のやり方、顧客志向実現に向けた取り組みなどを学んできました。

ああ、営業の人って大変なんだなあ、自分は研究開発でよかったなあ、と思いつつも5月からは営業研修というものがはじまり、仙台で製品営業をやりま。営業研修は、去年から始まったもので、技術系の職種の人に製品を売っている現場を知ってもらうことで消費者志向を勉強しようという目的で行われております。具体的な仕事内容は、製品を代理店、小売店に売り込みに行き、棚を確保し、1人でも多くのお客様に買ってもらうための商品の配置方法を考えたりします。それはそれで楽しそうだし、いろいろ学ぶことができそうですよ。ですが、営業範囲が広い！！自分の配属は仙台広域グループというところなのですが、このグループは宮城県、山形県、福島県の3県を網羅しております。この3県を車で行ったり来たりして、各地の小売店に商品の売り込みを行うわけ。まさか・・・俺が・・・営業をやるなんて・・・だれが考えたでしょうか。

一方、多くの方が心配をしているであろう僕の酒癖のことなんですが、先日記憶をとばしました。友達と4人ぐらいで（たしか4人です。）お酒を飲んでいたので、途中から記憶がありません。ピザを注文して俺がおごったところまでは覚えているのですが、その後のカラオケ、タクシー、洗濯バサミを体中につける、といったところが全く覚えていないのです。朝起きたら、案の定床には赤い物体が多数。髪の毛はパリパリ。服はぐしょぐしょ。といった感じでした。（ノンフィクションです。）ちなみに、カラオケ、タクシーは全部おれがおごると言っていたそうです。ぼられたな・・・。

そんなこんなですが、いまだに会社に慣れません。大阪というだけあって、

関西人ばかりです。関西弁ばかりです。関東の人もいるのですがあまり目立たないか、関西弁に汚染されてしまっている状況です。少し前までは、女の子の関西弁は癒されるなあ、とか言っていましたが、今は不愉快気回りないです。たまに標準語しゃべる人がいるのですが、むしろそっちのほうが癒されるくらいですね。そしてやっぱり、笑いのセンスが重要です。テンポが遅れただけで会話がなんかおかしくなります。転職しようかな・・・。

あとびっくりしたのが、彼氏彼女いる人が多すぎ。ていうかほぼ全員。研究室時代は10人中1人しか恋人がいないという状況でしたが、やはり外の世界は違う！もっともっと外の世界のことを勉強しなければ。

インカレ運営しませんか！？

26期 糸永幸平

ええと、まずこのたびのインカレに参加してくださった方々にお礼申し上げます。楽しんでいただけましたでしょうか。楽しんでいただけたのなら、僕ら運営もがんばった甲斐があったというものです。さて、インカレ運営記、とのことですので、裏方の苦労話やらやりがいやらを書こうと思います。これを読んで、自分も運営しようと思っていただけたらありがたいなあ、と。毎年毎年、絶賛生け贄運営者募集中ですので。

さ、本題に入りますかね。

2009年11月30日

夜、僕はくたくたに疲れて会社から帰ってきた。いつものようにPCをつけ、メールを見た。たくさんアダルト系スパムメールの中に、そいつは紛れ込んでいた。

「今年度もインカレ運営しませんか！？」

差出人は角さま¹。2009年度ICMのとき、僕と同じくゴールパートをやっていたパートチーフだった。そのメールによれば、彼女は今年度人事責任者に抜擢され、現在は人集めに奔走しているという。

—いいですよ。

なんと甘い考えだったのだろうか。前年、僕はひらの当日要員で、インカレ準備の大変さの5%も味わっていなかったのだ。だから、前年と同じ、軽い気持ちで返事をした。ところが・・・

「今空いてるポジションは、・・・スタートチーフとかいかがですか？」

ちよwwwwいかがですか？じゃねえよwwwwww チーフどころかスタートパートすらやったことねえよwwwwww 俺はそう言ったよ！やったことないって！

「無経験でも音信不通にならなければおっけーです。フォローしますので。」

音信不通ってあーたwwwwwwなんねえよw

で、結局引き受けた。困ってる人と女の子の頼みは断れないんです。

¹ この人は後に、リレーに既にエントリー済みの坪居ぼいを運営に引き込んだ。

12月18日

明日は現地で試走と地図調査。僕は袖ヶ浦から車を出す。明日の集合は池袋に7時。早く寝よう。

12月19日【試走会】

…

……

！！！！！！空が明るい！！

「時計は……………6時半！？ちょｗｗうえｗｗｗｗ」

ごめんなさいいきなり遅刻しました。7時に池袋といいながら、結局ついたのは8時でした。すみませんすみませんすみません……

現地では初めてGPS取りをやらせてもらったっす。平和でした。

地図調査以外は、至って普通に試走です。インカレっていってもやることは普通なんですわね。

12月24日

今日もたくさんメールが来てる……ん？

「マニュアル・資材リスト締め切り」²

ぬ……締め切り26日？無理でそ。だいたいパート員のマニュアルどころか自分の仕事すら把握してねえよ。だいたいスタート業務やったことないんだって。角さま助けてー。

「過去のマニュアルを参照してください。」

ースタートパートだけ見あたらないんすけど^^;

「サブチーフが経験者なんで、聞いてみるといいと思います。」

ー音信不通なんすけど^^# …フォローは！フォローをくれ><

12月29日

マニュアル……締め切りまであと5日かっ！書かねばっ！

² ちなみに資材担当は海野さん。

何が参考になるんだ・・・見つからんぞ・・・これか！

2006年 ICL スタートパートマニュアル

うーむ、ロングとミドルじゃまるで違うが・・・これしかないか。よし、丸写し。

できたっ☆

・・・インカレってたしか選手権と一般併設、スタート地区分かれてたような気がするんだがな・・・

・・・っていうかりレーもあったような気がするんだがな・・・まあいいか。締め切り守る方が大切すな。うんうん。

2010年1月4日

メールたくさんきてる・・・

マニュアル第2版、締め切りが10日か・・・今度こそ締め切りを守らねば・・・

1月10日-11日の地図調査、輸送依頼がきとる。行くでしょう。

1月9日【地図調査】

一朝一

やっべw渋滞にはまったwww

糸永「到着が30分遅れます、もうしわけない」

わたさん³「いいよいいよ。」

また遅刻したorz 今回は不可抗力だ・・・

今回のGPS調査では、激斜が対象エリアでした。(文字通り)死ぬかと思いました。滑落して。あまりに危険なため、途中で調査をあきらめました。どうせこんなところやまちゃん⁴入ってこれねえよ。

1月17日【プログラム読み合わせ】

例によって遅刻。

³ 地図担当

⁴ ジェネシスの山川さん。基本的に地図の納期を守らない。

1月23日-24日【最終試走】

一朝、車の中にて—

土井委員長からメール「糸永車どこ？」

同乗者の返信「〇〇です。」

土井メール「やっぱりか」

甘いぞ！出発が30分遅れてるからってな、あきらめるのはまだ早いだよ！

日光宇都宮道路、制限速度60km/hだけど、130km/hで走れるのさ！！！！30分
くらいの遅刻はちゃらにできるのさっ！

で、間に合わせた。汚名返上。出発は遅刻してるけど。

もう一人の遅刻魔、やまちゃんは今年も地図製作が遅れているようです……って、ほ
とんど旧地図のままじゃねえか！いいのか？こんなんで。

わたさん「またかよ。最初からわかってたけどさ。」

2月12日

やべえっやべえっ明日マニュアル読み合わせだっ！はやく第二版⁵アップしな
きゃ！

2月13日【マニュアル読み合わせ】

特に書くことはないけれど、朝の9時から夕方6時くらいまではほぼずっと会議室で
した。

2月27日-28日【2週間前準備】

二週間前準備では、大会で使用する看板、掲示物類の作成、あと、もっとも重要な
地図の封入を行います。場所は……東京農工大学小金井キャンパス 生協食
堂。。。。

夜の飲み会が食堂じゃないのは幸いでした。この日から坪居さんも運営に。

3月6日-7日【1週間前準備】

⁵ マニュアル第二版の締め切りは2月7日。

あいにくの雨。今日はリレーの地図置場を作ろうと思ったのだが、地面濡れてますな。・・・いたしかたない。屋内でやりましょう。うまくできあがってるかは当日のお楽しみ。

作業はもう一つ。選手権スタート位置が変更になったのに伴い、スタート枠の位置を今日決める！で、大西さん⁶と一緒にスタート地区へ。その道すがら・・・

大西・糸永 「・・・」

糸永 「・・・この場所、スタートフラッグ丸見えですね。」

大西 「山の縁ぎりぎり通せばいいんじゃないか？」

糸永 「またすごい誘導ですね。・・・あーでもだめです。」

大西 「見える？」

糸永 「見えます。」

大西 「んー・・・脱出方向はわからないでしょ？」

糸永 「わからないですね。」

大西 「じゃあ大丈夫。」

スタート枠予定地でも、

糸永 「この位置、フラッグまで選手がずっと見えてます。」

大西 「だめだね。もっと下げよう」

糸永 「見えます。」

大西 「ちょこっとじゃん、脱出がわからなければ大丈夫。走ってくるから、見えるか確認して。」

—大西さんがダッシュ—

大西 「どうだった？」

糸永 「丸見えです。」

大西 「じゃあここならどうだ？」

こんなことを延々1時間も繰り返し、ようやくスタート枠を決めました。

3月12日【開会式当日】

いよいよきました開会式！

⁶ 競技責任者

運営にとっては、本番よりも前日の方が戦場なんです。みんながセレモニーやってる裏で、運営どもがものすごい勢いで作業してるんですよ！

朝 9:00 に誰と誰と誰を車に乗って日光集合ってところから始まり、午前中に 50 近いフラッグとユニット、アングルをくっつけ、設置してポ確。午後にはスタート地区を設営し、誘導設置。夕方には競責が確認するという手順。

さて、一般/併設スタート地区の設営は首尾良くいきまして、1 週間前にあーでもないこーでもないやった選手権スタート地区。

・ ・ ・ あれ？スタートポストが見える。。

そうなんです。1 週間前に気づかなかったポイント。

スタート枠って、幅があるんですよ。2.5m くらい。なので、女子の枠からは見えな
いんだけど、男子の枠からは見える、みたいな。しまったああああああああああああ
ああ！！！！！！

仕方がないので再度あーでもないこーでもないを繰り返すこと 1 時間。めでたくぬか
るみの上に設営と相成りました。

がんばったんだよ！2m 上げても 3m 下げてもスタートフラッグが見えるんだよ！角度
考えないとだめだったんだよ！どうしろってんだ！しかも当初予定から角度変えたから、
枠の端っこが斜面になってさ、「どっから枠に入るねん」みたいな。進入経路作るため
に枯れ枝を取り払い、切り株を掘り起こしたさ！立地条件の悪さの割にはあれでもまし
になってたんだから！快適！おうちのリフォーム before after だよまったく！

選手権な方々には大変ご迷惑をおかけしました m(_ _)m

で、日没タイムアウトで宿舎に戻れば、看板が足りなかったり、スタートボードを作成
したり、掲示用のスタートリストを作成したり、あっひゃっひゃー(°▽°)なタスク量。そのタ
スクをざくざくやっつけ、23:30 に全体ミーティング。1 部屋に 50 人近い運営者が集ま
ります。

そこで悪魔角さまが火を噴いた。

土井委員長「じゃあ、角さま明日の予定をどうぞ。」

悪魔「当初予定では 6:30 から食事となっていましたが、会場設営が遅れてい
るので全員 6:00 作業開始に変更します。5:30 には起きないとだめですね☆」

…\。(ρ°)ノ

土井委員長「各パートのこの後の動きと終了予定時刻をどうぞ。」

チーフ1「私ともう一人だけ午前3:00 終了予定。」

チーフ2「たぶんあと1時間(希望)。」

チーフ3「〇〇さんが午前2:00 に到着なのでそれまで仮眠、2:30 からミーティング。」

…\。(ρ°)ノ

特に最後なんだよ、仮眠って。うち？スタートパートは午前2時終了でしたよ。睡眠不足はミス元ですからね。

3月13日【ミドル本番】

5:30 誰かの目覚まし鳴り、すぐに部屋が明るくなる。…容赦ねえな。っていうか外まだ暗いんですけど。作業できなくね？

6:00 うっすらと空が明るくなる。まさか日の出と同時に作業開始でこの時間設定か？悪魔半端ねえな。

7:00 朝食を取り、パート員で簡単に動きを確認すると、持ち物を確認してすぐにスタート地区へ。ここから先は一般/併設班と選手権班に分かれる。首尾良くいくことを祈る。

8:00 時計や掲示物類など、前日に用意できなかったものを設営していると、早くもどこかの大学のオフィシャルが下見に。「あれ？待機所開場まだですよね？」「待機所に入らずにきました」やはりインカレ、気合いの入れ方が違う。

8:30 設営もおおかた終わり、リハーサル。うん、いい感じだ。

9:30 選手権 B スタート

あとは流れ作業。みんないいレースができますように。

レースが終わればスタート地区と誘導を撤収。その裏ではポストを付け替える。

ポスト付け替えが終われば、直ちに翌日の準備にかかる。まずは全員で日没までに会場レイアウトの変更。その後風呂に入ってご飯を食べて、さあ作業。明日の地図置場は、例年と違ってペグを打つことができない。そこで、2L の空ペットボトルを50本ほど事前にかき集めておいた。それに水を入れてゆく。21:00 に外で。星がきれい

⁷ ちなみにこれはまだましな方。2008年は偉い人たちがほとんど寝てないと思う。

だった。

水を入れ終われば、追加エントリー分の地図を用意したり、明日の資材をかき集めたり。やはり 23:30 に全体ミーティングがあり、24:00 からスタートパートのミーティング。さらにその後残タスクをやっつけ、床についたのは 2:30。明日もまた 5:30 起床だ。

3 月 14 日【リレー本番】

5:30 起床

6:00 地図置場を設営する。パート員にレイアウトと作業内容を説明し、作業開始。事前にひもにくくりつけておいた地図の短冊を展開する。・・・10 分で終了。これはすばらしい！

端点に水ペットボトルをくくりつけ、真ん中に鉄棒のおもりを入れ、掲示物をつける。追加の地図を入れ、強度に問題のあるところを補強したりして設営終了。今日は余裕がありそうだ。

9:20 スタート業務が始まる。まずは WE。ふむ、人数が少ないからよゆー☆。ME、まだ行ける。MUR・・・80 チーム。多くね？ WUR/XUR/MUS/WUS・・・ひっひっひっ！ 最後！・・・併設全部。何人いるんですか・・・誰だ余裕がありそうとか言った奴は。

選手が出てしまえば、あとは至って平和なもの。僕に至っては割り当てタスク無し。

あと、一言いいですか？いつからつばめ会は農工路線⁸になったのですか？おいそこの近藤！武藤！島田！よくやった！

そんなこんなで 1 日が終わり、集合写真を撮った。運営の多くは社会人なので、大半はそこで帰宅。僕は翌日も有休をとったので、もう一泊して後片付けをしました。

夜に酒を飲みながらシード選手紹介を見てました。田村すげえ。ありえねえ。

運営の雰囲気感じていただけましたか？インカレ運営って大変なんですよ。じゃあな

⁸ 農工、インカレといえば全身タイツとかメイド服とか。

んぜ運営するの？ かれこれ十数回のインカレ運営に携わってきた立川さんが言っていました。

「インカレに参加した数だけ運営しよう」

やっぱり、どんなに大変でも、インカレってお祭りなんですよ。年に 1 度の大切なお祭り。これを絶やしちゃいけない。誰かがやらねばならんのです。学生のお世話になったからこそ、今度はそれを返さなきゃ。

是非、みなさんもインカレ運営してみてください。貴重な体験になりますから。

・・・僕は 4 回参加したから、借金はあと 2 回分かな。

あ、あと倉澤さん本当にごめんなさいでした。

ML・ホームページについて

つばめ会ML(メーリングリスト)

つばめ会会員間の連絡手段の1つとして立ち上げています。大会情報・観戦記、同期会・飲み会の連絡、近況報告などお気軽に使ってください。メールアドレスは となります。ご不明な点がありましたら、管理者の木平(25期)までご連絡ください。

また、このML に関するホームページ(登録メンバーのみ)にて過去ログなどを閲覧することもできます。 <http://groups.yahoo.co.jp/group/tsubame/> までアクセスしてください。

また、つばめ会および東工大OLTのホームページが稼働中です。ぜひご覧ください。

つばめ会のホームページ 管理人:小山(27期)

<http://www.geocities.jp/tsubamekai/>

東工大OLT のホームページ 管理人:有浦(31期)

http://www.geocities.co.jp/titech_OLT/

編集後記

こんにちは、25期の北村伸介さんより広報を引き継いだ小山温史(27期)です。

無事に、slopeが発行できたことを嬉しく思います。今回は特に柴本と糸永さんがたくさん書いてくれたので、量もなかなかです。ありがとうございます。ただ、原稿は若者中心になってしまっているのもっと上の方からも原稿を集めたいです。ご協力よろしくお願ひします。

今回はslopeの発行が遅れてしまいました。というのも、本年度、新たに社会人になりまして忙しかったのです。ユニバーシアード出場が決まりトレーニングもしなければなりません。忙しいのはみんな同じではないか！とお叱りを頂いてしまいますね。来号は生活も安定していると思ひますので、しっかりと発行しますので、楽しみにして下さい。

さて、前述の通り社会人になりました。まだまだ、研修を行っているだけなので特に学校と変わらない状況ですが、新しい出会いもあり生活も規則正しくなり充実した生活をして下さい。会社の雰囲気にも流されることなく、楽しくしっかりと自分と会社のために働きたいと思ひます。

最後に、ユニバーシアード出場への応援ありがとうございます。しっかりと頑張りますので、引き続きのご声援よろしくお願ひします。

注)提出された原稿から間違いや、プライバシーの関係から少し修正加えてあります。ご了承下さい。

東工大オリエンテーリング部OB/OG会「つばめ会」会報“Slope”27号

発行責任者:坪居 大介

編集責任者:小山 温史(ad-koyaあつとk04. itscom.net)

発行年月日:2010年6月9日